# 令和６年度　「志教育」全体計画

様式１

宮城県気仙沼高等学校定時制課程

## 校　訓

究理創造　和親協同　至誠励業

## 本校の教育目標

Ⅰ　新しい時代に対応できる学力の形成を図り、創造的能力啓発に努め、国家及び社会の形成者としての資質を養う。
Ⅱ　心身を鍛え、豊かな情操と協同の精神を培い、個性の伸長を図る。
Ⅲ　地域の自然や文化を尊び、国際的視野に立ち、志の実現を自ら目指し学び続ける人材を育成する。

## 生徒の実態、教師の願い

・様々な困難を抱えながらも、努力をする生徒がほとんどで、就職をする生徒の割合が高い。
・日々の授業や諸活動に真摯に取り組み、充実した学校生活を送って欲しい。

## 保護者や地域の願い

・就職を主としながらも、多様な進路希望がある中で「進路希望が達成できる学校」としての期待が大きい。
・学校生活と社会生活の両面から、品格や人間性を磨き、基本的生活習慣の確立を心掛け、明るく有意義な毎日を送ってほしいと願っている
・地域に貢献できる人材となって社会に貢献して欲しい。

## 「志教育」の目標

１　他者とのよりよい人間関係を構築する
２　学ぶ機会を中心に、物事に対する主体性を養う
３　地域社会に貢献できる就労態度を身に付ける

## 重点指導事項

| 人と「かかわる」 | よりよい生き方を「もとめる」 | 社会での役割を「はたす」 |
|---|---|---|
| 授業や諸活動の場面において、他者の考えに触れる対話の機会をつくり、自分の考えを整理させる。また、他者とのコミュニケーションをとり協力しながら物事に取り組む姿勢を養う。 | 学びの場を中心に、学ぶことの意義や学習内容と社会、ひいては自分との関わりについて考えさせる。こうした教育活動を通じ、自分の興味関心について考えさせ、自己理解を促し、様々な物事に対して主体的に行動できるようにする。 | インターンシップや地域でのボランティアなどを通して、自分の役割を果たすことにより集団の一員としての自覚を持たせる。また、必要な知識や技術を身に付け、実際に行動することができるようにする。 |

## 各教育活動における取組の観点

| | |
|---|---|
| 各教科 | 基礎・基本を重視し、知識の定着を図るとともに、学び方やものの考え方を身に付け、問題解決や探究活動に主体的・創造的に取り組む姿勢を育成する。 |
| 道徳 | 思いやりの心と豊かな感受性を持って節度を重んじながら粘り強く努力する個性豊かな生徒の育成、潤い豊かな社会の実現と発展のために積極的に取り組む態度の育成を目指す。 |
| 総合的な探究の時間 | 社会に存在する課題の発見と解決に必要な知識・技能を身に付け、実社会と実生活を自己との関わりから問いを見い出し、自分でテーマを設定し、情報を集め、整理・分析してまとめ、表現する力を養う。 |
| 特別活動 | LHRにおける学級活動、体育大会や文化祭、修学旅行を初めとする学校行事を通じて、集団生活における規律や友情、協力の重要性を学ぶ。 |
| その他 | 安全教育に関する行事を通し、生徒自らが安全な環境について考え、守ろうとする姿勢を育成する。 |

## 各学年の取組内容

| | |
|---|---|
| １年 | ①ハローワーク講話<br>②交通安全教室<br>③地域ボランティア<br>④キャリアセミナー<br>⑤防災学習<br>⑥探究基礎 |
| ２年 | ①交通安全教室<br>②インターンシップ<br>③地域ボランティア<br>④キャリアセミナー<br>⑤防災学習<br>⑥学術探究 |
| ３年 | ①企業・専門学校見学<br>②インターンシップ<br>③オープンキャンパスの参加<br>④キャリアセミナー<br>⑤防災学習<br>⑥学術探究 |
| ４年 | ①企業・大学研究<br>②面接・書類指導<br>③企業・専門学校見学<br>④キャリアセミナー<br>⑤防災学習<br>⑥総合探究 |

## 家庭との連携

ホームページや「勤労以進学」等の学校だよりや学校評価を通して情報の発信を進めるとともに、PTA活動や学校公開等で家庭との相互理解と連携を図る。

## 地域･企業との協働

正社員やアルバイトでの就労、インターンシップ、ボランティア等による仕事や地域への奉仕活動等を通して地域貢献を行うことで、地域から信頼される学校作りを進める。